

科目名	中国法と政治特殊講義Ⅰ		
担当教員	熊 達 雲	科目区分	選択必修科目
開講区分	前 期	単 位 数	2 単 位
曜日時限	金曜・1時限	開講年次	1 年
到達目標	中国の政治制度や政治事情について系統的な知識を身に付け、中国に対する観察力、分析力を向上し、中国の出来事について分析することができる。		
授業概要	<p>中国は2020年までにGDPと国民所得が倍増し、「富強・民主・文明・調和」の国家建設、「自由・平等・公正・法治」の社会形成、「愛国・敬業・誠信・友善」の国民の育成という中核的な価値体系の確立といった目標を提出した上に、2017年11月に開催された共産党第19次全国大会で2035年に社会主義近代化国家を建設し、2050年に社会主義近代化の強国を築き上げると宣言した。そのために、余裕のある社会の全面的な建設、改革開放の全面的な推進、法治国家の全面的な構築、共産党への統治の全面的な強化などの指針が打ち出された。</p> <p>このようなことを念頭に、中国の政治制度および政治事情を取り上げて授業をしていきたい。</p>		
授業計画			
回数	内 容		
第1回	中国の政党制度と中国共産党		
第2回	中国政治の構造と仕組み		
第3回	法律はどこで制定されるか		
第4回	中国人民代表大会の選挙および運営方法		
第5回	行政権はどのような行使されるか		
第6回	公務員制度のありかた		
第7回	中国人民政治協商委員会はどのような機関か		
第8回	人民解放軍の在り方		
第9回	国家監察委員会の組織構造と役割		
第10回	中国で腐敗深刻化の原因と腐敗撲滅への取り組み		
第11回	中国における世論の形成とソーシャルメディアとの関係		
第12回	中国の地方制度及び中央との関係		
第13回	人類運命共同体の構築に取り組む中国の外交政策		
第14回	中国における民族政策と民族問題		
第15回	中国はどこへ向かうか		
準備学習等 (課題・予習・ 復習・調査等)	課題ごとに予習資料の指定、講義後の討論に備える調査の要求。		
評価方法・基準 ・講評の方法	講義時の発言・中間報告書(50%)と期末のレポート(50%)で評価する。 講評は授業内で行うが、希望者には面談で行う。		
テキスト・参考書	熊達雲他編「現代中国政治概要」(テキスト) 毛里和子著『現代中国政治』 国分良成著『中国の統治能力』 朱建栄編著『世界のパワーシフトとアジア』		
前年度の授業を ふまえた今年度 の授業方針	昨年度のアンケートで好評を得たので、履修生の思考力、論理力をより向上させるために、参加型の授業を行う。		
学生への メッセージ	よく予習し、よく復習し、よく考えること。		
授業に参考と なるサイト	http://j.people.com.cn/# (人民網 日本語版) http://www.news.cn/world/ (新華網) http://www.huanqiu.com/ (環球網)		

関連する画像	
その他・備考	